

新小山市民病院

だより

No.34

2021年9月1日号*



目次

病院長挨拶	P.1	決算報告	P.2
血液のお話	P.3	お知らせ	P.4

TOPICS ★ 病院機能評価の更新が認定されました！ ★



公益財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価について、当院では平成27年5月に初めて同機構による審査を受け認定となりました。この度、認定期間満了に伴い、更新審査を受審し2回目の更新が認定されました。

(認定期間:2020年10月2日~2025年10月1日)

これまで以上に安全で質の高い医療を提供し続けていけるよう努めていきます。



“中期目標2期8年が終わって”

地方独立行政法人「新小山市民病院」は、市が設定した1期4年ごとの中期目標に対して、それらが達成されたかが評価されます。2期8年が昨年度終了しました。独立行政法人化以降、新小山市民病院が提供する医療の内容は大きく変わりました。年間の救急車搬送件数は、両大学病院を凌ぎ、済生会宇都宮病院に次ぐ第2位となり、急性心筋梗塞・狭心症や脳卒中など循環器疾患は県内屈指の治療件数となりました。その結果、他病院と比較した救急医療の偏差値とも云われる「救急機能係数」は群を抜いて高くなっています。さらに各種がん疾患や消化器、呼吸器、整形外科、その他の疾患の治療件数が確実に増加し、「病院の実力」は確実に上がっています。ただ、周産期医療だけは、産科医の確保が困難なために実現できておりません。それでも産後ケア、婦人科を開始するなど、できることを行ないつつ、粘り強く産科の再開を目指します。

新小山市民病院の財務状況については、令和2年度当初は、コロナ禍による通常診療の抑制があり、赤字を覚悟しました。ところが、最終的には連続8年の黒字を達成することができました。年度の後半は患者数が回復傾向を示し、かつ平均診療単価が増加したこと、そして国・県からの新型コロナ診療に関する支援・補助金を頂き、令和元年度とほぼ同額の黒字を計上できたのです。

県内のコロナ診療に対して本院の役割をしっかりと果たしつつ、コロナ以外の通常診療を維持することにも精一杯やってきたことが、正直に財務に反映されたと考えています。コロナと通常診療が両立できたのは、本院職員が、ワンチームとなって協力し合い、各人の仕事をやりとげた結果であると自負しています。

令和3年9月

新小山市民病院 理事長・病院長 島田和幸

令和3年7月着任の先生の紹介

伊野田 悟

- ①所属 眼科 部長心得
- ②出身地 栃木県宇都宮市
- ③趣味 スキューバダイビング、スキー、料理
- ④専門分野(疾患) 眼科一般
- ⑤ひとこと 違和感、痛み、視力低下など、何か困ったことがあればいつでも受診してください。よろしくお願いします。

山崎 正博

- ①所属 泌尿器科 医員
- ②出身地 茨城県
- ③趣味 フットサル
- ④専門分野(疾患) 泌尿器科学一般、特に尿路結石
- ⑤ひとこと 尿路結石を専門としております。手術から再発予防まで、お気軽にご相談下さい。

眼科紹介!

白内障、緑内障、網膜・黄斑疾患、ぶどう膜炎、角膜疾患などを含む幅広い眼疾患に対して、小児から高齢者まで診療を行います。視力・眼圧・視野検査など基本的な検査に加え、眼底カメラや網膜光干渉断層計、蛍光眼底造影検査等の検査が可能です。

治療に関しては、2泊3日の白内障手術に加え3泊4日の硝子体手術も行っています。また、網膜静脈閉塞症や糖尿病黄斑浮腫に対する抗 VEGF 薬硝子体注射を日帰り・基本的に受診日に行い、網膜裂孔や糖尿病網膜症、白内障術後の後発白内障といった疾患に対し外来でレーザー治療も行います。



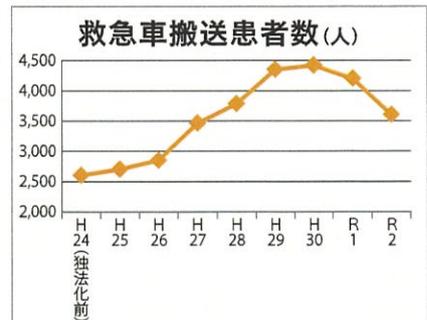
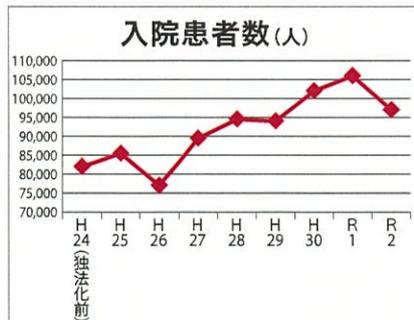
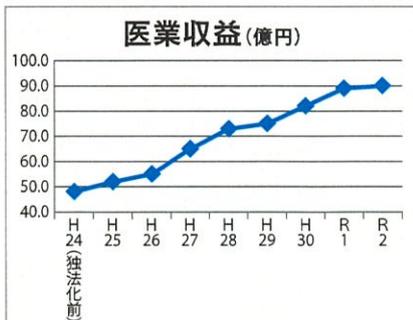
令和2年度決算報告!

～ コロナ禍が続く中、皆様のご支援により独法化後8年連続の黒字を確保 ～

令和2年度は、前年度から続くコロナ禍の影響をさらに強く受けた1年でした。4月7日、首都圏等への「新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言」が出される中、当院においても入院・外来患者数や救急搬送患者数の激減など、厳しい環境下でのスタートとなりました。そのような中であっても地域中核病院として市民の皆様の期待にお応えできるよう、万全なコロナ対策を講じながら、安定した医療体制の確保や「断らない救急」体制を維持するため職員一同奔走しました。また皆様からいただいた声を病院の改善につなげるなど、利用者満足度の向上にも積極的に取り組みました。

その結果、業績も次第に回復し、最終的には当院始まって以来の医業収益90億円超えとなり、独法化後8年連続の黒字を確保することができました。厳しい状況の中で皆様からいただいた物心両面の温かいご支援が職員への大きなエールとなりました。心より感謝申し上げます。

依然、コロナ収束は見通せない中ですが、引き続き万全のコロナ対策と安定した医療体制の提供を維持しつつ、地域に根差した市民の皆様のための病院として、より一層の医療機能の充実に努めていきます。



身近な血液疾患、「貧血」について



小山市のみなさん、初めまして。
血液内科の多々良です。
今日は身近な血液疾患である「貧血」
について、少しだけ深く知っていただき
たいと思います。ポイントは、「**貧血の時には「網状赤血
球数」をみよう!!!**」です。



職場や自治体の健康診断、あるいは
定期通院中の採血で、しばしば「貧血」を
指摘されることがあります。この場合の貧血は、頭がク
ラクラするような立ちくらみ症状、いわゆる「脳貧血」と
は異なります。



私たち医師が使う「貧血」は、血液中
の「赤血球の量(厳密には循環赤血球容
量)」が少なくなる状態のことをいいま
す。血液検査データを見ると「血色素」とか、「ヘモグロ
ビン」とか、「Hb」などと書かれた項目があります。この
数値が正常より低下している場合を「貧血」というので
す。ちなみに我々医療者は、「脳貧血」という言葉は使い
ません。



さて、私たち血液内科医が貧血の患
者さんを診る時、まず初めに確認する
データは何でしょうか？



それは「網状赤血球」です。これはヒト
に例えると中学生～高校生くらいの成人式前?の赤血
球のことです。

赤血球が多く作られる状態におい
ては、まだ未成熟の子供赤血球も増える
ので(赤血球のベビーブーム)、網状赤
血球数も増加します。一方、赤血球生産が抑制される状
態においては、未成熟な子供赤血球は減るので(赤血
球の少子化)、網状赤血球も低下します。通常、赤血球が
減る貧血では、足りなくなった赤血球を補おうとするの
で、赤血球数は増産体制に入り網状赤血球数も増加し
ます。



貧血を理解するには、自動車生産
をイメージすると良いのかもしれませんが。



鉄やアルミニウムなどの材料が不足したら、製品で
ある自動車(=赤血球)は作られません。

工場(血液の工場は骨髄といいます)の機械が故障
していたり、停電のために機械が動いていなかったら、
これも製品である自動車(=赤血球)は作られません。
あるいは、作ったとしても不良品ばかり作ってしまった
としたら、検品段階で不合格になってしまい、製品で

ある自動車(=赤血球)は市場(=私
たちの体)に出ることはありません。

こういった生産低下による貧血で
は網状赤血球が低下するのです。別の言い方をするなら
ば、網状赤血球低下型の貧血をみた場合には、材料
不足や工場の故障がないかを考えるのです。

一方、自動車の海外での売れ行き
が非常によく、製品のほとんどが輸
出されてしまったとしましょう。そう
すると国内市場(=私たちの体)には製品である自動車
(=赤血球)が不足します。材料の不足も工場の故障も
なければ増産体制に入れるはずで、網状赤血球も増
加します。別の言い方をするならば、網状赤血球増産方
の貧血をみた場合には、赤血球消費亢進がないかを考
えるのです。

赤血球消費亢進型の貧血は、①出
血、②溶血のどちらかであることが圧
倒的に多いです。一方、生産低下型の
貧血は種々の原因が考えられるため、もう少しヒントが
欲しいところ。そこで私たちはMCV(平均赤血球容積)
をみます。これが上昇しているのか(=大球性貧血)、正
常範囲内なのか(=正球性貧血)、それとも低下してい
るのか(=小球性貧血)、貧血の3つのタイプに分類しな
がら原因となっている病気を絞っていくのです。

例えば、小球性貧血のパターンをとる代表選手が、最
も身近な貧血である「鉄欠乏性貧血」です。

紙数が尽きたので、今回の貧血のお話はここまで。
続きはいつかまた。それでは皆さん、ごきげんよう。

血液内科部長 多々良 礼音

新規医療機器の紹介

クライオアブレーション装置導入！



不整脈治療の診療機能の向上として、昨年導入した高周波によるアブレーション治療装置に加えて、新たに冷凍ガスによる『クライオ(冷凍)アブレーション装置』を導入しました。カテーテルの先端に付いたバルーンを用いて、心房細動を起こす異常な電気信号を冷凍焼灼により遮断する方法です。治療を希望される場合はまずはかかりつけ医にご相談の上、当院へご紹介いただくようお願いいたします。

眼科手術顕微鏡導入！

最新で最上位の眼科手術顕微鏡を導入しました。この新しい装置は、優れた画像解像度と術者の操作性を有した白内障手術と網膜硝子体手術の装置になります。この装置を使用することで手術をより安全で正確に行うことができます。

このように、当院では万全の治療体制を整えて患者様をお迎えしています。治療を希望される場合はまずはかかりつけ医にご相談の上、当院へご紹介いただくようお願いいたします。



免荷(めんか)式歩行リフト導入！

免荷とは、主に足に体重をかけない状態を指す言葉です。

免荷式歩行リフトはリフト機能のある歩行器で、患者さんに巻いたハーネスで身体を吊下げて足にかかる体重負担を軽減する装置です。骨折手術後の患者さんでも痛み無く歩行できますし、脳卒中後の麻痺が重度で立位・歩行が困難な患者さんの歩行訓練も可能です。

ハーネスが身体を固定してくれるのでバランスを崩した際も転倒の危険性が軽減でき、安心して歩行訓練ができます。



職員採用のお知らせ

～私たちと一緒に働きませんか～

院内保育所も整備されています。ご連絡をお待ちしております。

1. 医師

地域医療に興味のある方、そろそろ地元に戻ろうとお考えの方はぜひ一度お問い合わせください。

2. 看護職員・介護福祉士

2021年度第3回採用試験(採用日:2022年1月1日、資格取得見込みの方は2022年4月1日)試験日:11月18日(木)応募期間:9月6日(月)～11月4日(木)

3. 看護師(臨時職員)

4. 予防医学センター勤務 保健師

5. 理学療法士、臨床工学技士、社会福祉士

6. 言語聴覚士、理学療法士(臨時職員)

7. 事務職員【総合職】

2021年度事務職採用試験(採用日:2022年4月1日)第1次試験:9月28日(火)、第2次試験:10月中旬頃対象者:1996年4月2日～2003年4月1日までに生まれた方

応募期間:8月2日(月)～9月14日(火)

※各職、詳細につきましては下記までお問い合わせ、またはホームページをご確認ください。

お問い合わせ先 人事課 ☎36-0285

新型コロナウイルスワクチン接種協力について

全国的にワクチン接種が進められる中、当院も医療機関の務めとして、感染リスクの高い、医療従事者、消防職員、看護学生、小中学校教職員等への優先接種等を担当し、また、小山市の集団接種へも、医師・看護師を派遣しました。当院は市内唯一の2次救急医療機関として、コロナ患者及びワクチン接種時の副反応等への対応に注力するため、院内での個別接種は実施しておりませんが、今後も可能な限りワクチン接種に協力していきますので、ご理解をお願いいたします。



病院ふれあい祭りの中止について

新型コロナウイルス感染症が蔓延する中、毎年秋に実施している“新小山市市民病院ふれあい祭り”の開催を見送ることとしました。

地域の皆様との“ふれあい”の機会を失うことは非常に残念ですが、来年はコロナ終息を祝い、さらにパワーアップして、皆様にお会いできることを楽しみに、コロナ診療を含め医療活動に全力を尽くしていきます。



地方独立行政法人
新小山市市民病院

〒323-0827

栃木県小山市神鳥谷2251番地1

☎ 0285-36-0200(代表)

📍 <http://hospital-shinoyama.jp/>

看護師採用サイト <http://hospital-shinoyama.jp/nurse/>

📘 <https://www.facebook.com/shin.oyama.city.hospital>

LINE公式アカウント 右記QRコードを読み取ってください。⇒

